



学校だより

上尾の児



第4号

令和2年9月28日

埼玉県立上尾特別支援学校

<https://ageo-sh.spec.ed.jp/>

「ピンチをチャンスへ」

校長 竹野谷 一幸

今年の夏は、記録的な高温となりました。気象庁によれば、1946年の統計開始以来、8月として1位の高温だったそうです。ご家庭におかれましても、新型コロナウイルス感染防止に加え、熱中症対策にも神経をつかう日々の連続だったのではないのでしょうか。これまでの、保護者の皆様のご協力に改めて感謝いたします。

さて、報道等でご承知のとおり、県立学校でもいくつかの学校において児童生徒及び職員に対する新型コロナウイルスの感染が確認されています。現時点において、感染防止に画期的な対策があるわけではありません。次のような基本的なことをしっかり継続することが大切なことと考えます。

- 1 朝晩の検温、健康チェック
- 2 流水と石けんによるこまめな手洗い
- 3 咳エチケットの徹底、マスクの着用
- 4 「密集」「密接」「密閉」の3密を避ける

通常であれば、宿泊学習や体験学習等の学校行事等、様々な取り組みを通じて児童生徒が大きく成長する時期です。しかし今年は、新型コロナウイルス感染症の動向を見極めながら対応せざるを得ないことから、ICT機器の活用をはじめとした日々の教育活動を、より一層創意工夫する必要があります。特に、学校自己評価システムシートに掲げた「主体的・対話的で深い学びの視点・観点をういた授業実践」並びに「自閉症理解と自閉症支援を基本として個に応じた教育活動の充実」については、重点的に取り組んでいるところです。10月からは、特別非常勤講師と共に児童生徒の実態を見立て、成功体験を積重ねていく、個に応じた具体的な指導支援を実践していきます。全ての教室において一斉にスタートすることは困難ですが、段階的に実施していく予定です。

様々な場面において制約がある状況ではありますが、ピンチをチャンスに変えていく視点を持ち、多様な学びや体験を積み重ねていくことで、豊かに生きる力をしっかりと育ててまいりますので、引き続き保護者の皆様のご協力、お力添えをお願いいたします。

令和3年度4月に転居等の理由で転校を予定されている方、小、中学校への転学(学習形態の変更)を希望されている方は個別面談の時に担任までお知らせください。